

平成 28 年 11 月 2 日

各 位

会社名 ミツミ電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 森部 茂  
 (コード番号 6767 東証第1部)  
 問合せ先 総務部部長 野口 晋弘  
 (TEL 042-310-5333)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想値と実績値の差異及び  
 通期連結業績予想の修正並びに営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 2 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）の業績予想数値と実績値の差異が生じたこと及び平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結会計期間（平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）における営業外費用（為替差損）の計上について、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計期間連結業績予想値と実績値の差異  
 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	75,000	△3,200	△5,700	△6,000	△73.88
実績値 (B)	77,265	△4,991	△8,355	△7,948	△97.88
増減額 (B-A)	2,265	△1,791	△2,655	△1,948	
増減率 (%)	3.0	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	83,683	△550	△693	△1,246	△14.62

差異が生じた理由

売上高は予想を上回りましたが、営業利益は高付加価値製品の構成比の減少と販売価格の円貨ベースでの下落により予想を下回りました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業損失の拡大に加えて、円高が進行したことに伴う為替差損を計上したことにより予想を下回りました。

2. 平成 29 年 3 月期 連結業績予想数値の修正  
 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	165,000	0	△1,200	△2,500	△30.78
今回修正予想 (B)	167,000	△6,000	△9,500	△9,500	△116.98
増減額 (B-A)	2,000	△6,000	△8,300	△7,000	
増減率 (%)	1.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	163,562	△4,576	△8,896	△9,662	△115.92

修正の理由

売上高は期初想定以上で推移する見込みですが、為替の円高傾向により採算性が悪化したことに加え、高付加価値製品の構成比の減少も継続するものと推定いたします。その為、上記のとおり、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の予想を修正いたしました。

なお、第 3 四半期以降の為替につきましては、1 米ドル 110 円想定を 105 円想定に変更しております。

3. 営業外費用（為替差損）の計上

為替相場の変動（円高）の影響により、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結会計期間において為替差損 5 億 7 千 2 百万円（第 2 四半期連結累計期間では 30 億 3 千 7 百万円）を営業外費用に計上いたしました。

なお、上記の金額は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期末時点の為替相場による為替差損であり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

注) 上記の業績予想等は将来に関する情報であり、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因により、この業績予想等とは異なる場合があります。

以 上